

森林用ドロップネットと運用方法の開発

- 成果
- ・銃器を使用しなくても、森林内で安全かつ効果的にシカを捕獲できる方法として、森林用ドロップネットを開発。
 - ・国立公園、畜舎や人家の周辺など、銃器やくくりわなが使えない場所で、繰り返し捕獲によるシカ密度低減に期待。

構造と設置



作業道上に設置した森林用ドロップネット。
周囲の**立木を支柱に利用**して、**10×10 mの網を蚊帳状**に吊った。初期設置作業は4人で半日。
車両の通行に支障のない高さに設置すれば、長期の運用が可能。



網だけを落とす仕組みにより、再設置は容易。



全ての資材は**ライトバン1台**で運搬可能。

捕獲



- 1) 数日の餌付けで警戒を解いた後、離れた場所で画像を見ながら、
- 2) **群れごと捕獲**できるよう、タイミングを見計らって網を落下。
- 3) 巾着状に網が絞られてシカは動けなくなる。後の作業も安全にできる。

留意点 万能な捕獲方法はないため、立地、動物の行動、人の活動や法律など、諸条件を考慮して最適な方法を選択、組み合わせることと、各捕獲方法の長所や特性を発揮できる体制づくりが重要。